

エコアクション 21

環境活動レポート

2009 (平成21年度)



(桜花見会 市民開放)

福岡地区水道企業団
牛頸浄水場
水質センター

【目次】

環境方針	1
1 . 組織の概要	2
1) 事業所名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 責任者及び事務局，連絡先	
4) 事業の内容	
5) 事業規模	
6) 推進組織図	
2 . 環境目標とその実績	3
3 . 主要な環境活動計画の内容	4
4 . 環境活動の取組結果の評価	6
5 . 環境関連法規への違反，訴訟等の有無	11

福岡地区水道企業団環境方針

1. 基本理念

福岡地区水道企業団は福岡都市圏の住民に安全で安心な水道用水を安定供給するという重要な役割を担っています。いま、異常少雨や集中豪雨、また温暖化などの異常気象に代表される地球規模の環境問題が生じていますが、私たちも、水道用水供給という事業活動を通じて環境への負荷を与えていることを認識し、将来の世代により良い環境を引き継ぐため、地球に優しい行動計画を定め、環境保全に努力していきます。

2. 基本方針

基本理念に基づき、次のことを基本とする環境マネジメントシステムを構築し実践します。

1. 関連法令を遵守するとともに、自主管理基準を設け、私たちの事業活動が与える環境への負荷を低減し地球に優しい水道用水供給事業を目指します。
2. 資源、エネルギーの使用量ならびに廃棄物の削減を図り、リサイクルを推進します。
3. 水源地および流域の環境保全のため、関係ある人々と手を携え環境保護活動に取り組みます。
4. 周辺への環境汚染の予防に努めるとともに、環境に調和した緑豊かな施設を目指します。
5. 環境マネジメントシステムの定期的な見直しにより継続的改善に努めます。
6. この方針は教育・訓練等を通じて全ての職員に周知徹底し、一般に公表します。

平成21年4月1日

福岡地区水道企業団

施設部長

平尾 隆道

1 . 組織の概要

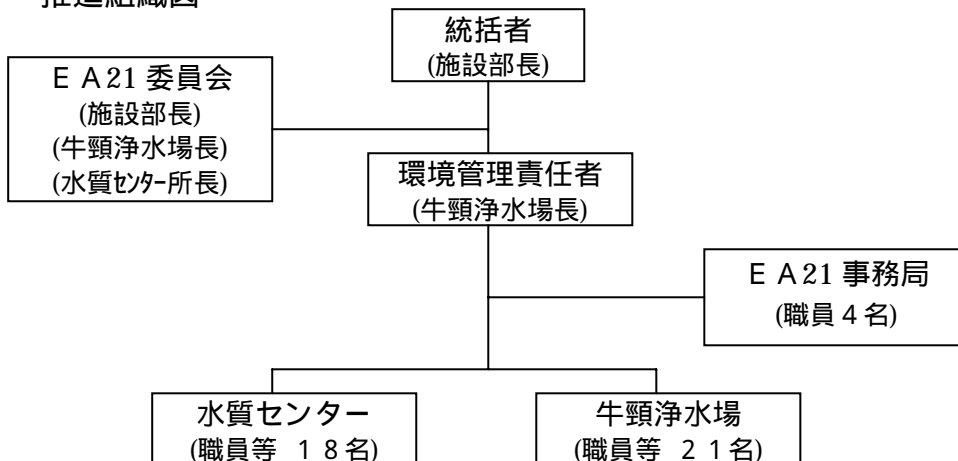
- 1 . 1 事業所名 福岡地区水道企業団施設部 牛頸浄水場・水質センター
 代表者名 施設部長 平尾 隆道
- 1 . 2 所在地 福岡県大野城市牛頸一丁目1番1号
- 1 . 3 環境管理責任者 牛頸浄水場長 山内 一弘
 担当者氏名 牛頸浄水場 林 義夫
 連絡先 TEL 092 - 596 - 5021
 FAX 092 - 595 - 3065
 E-mail y.hayashi@f-suiki.or.jp
- 1 . 4 事業の内容 水道用水供給事業
- 1 . 5 事業の規模
- 1 . 6

活動規模	単位	21年度	20年度	19年度	18年度
水道用水供給収益	百万円	8,311	8,301	8,240	8,578
職員数	人	40	40	40	40
庁舎の延べ床面積	m ²	15,942	15,942	15,942	15,942
水道用水供給水量	千トン	63,320	62,885	61,089	63,592

職員数には、常勤の嘱託職員、臨時職員等が含まれます。

- ・ 水道用水供給収益；認定送水量及び脱水ケーキによる収益。
- ・ 水道用水供給量；認定送水量 + 脱水ケーキ搬出量（総製品生産量）

1 . 6 推進組織図



2. 環境目標とその実績

2.1 目標の達成状況

当事業所は平成19年度にエコアクション21を取得し、環境活動に取り組んでいる。
平成21年度の目標は19年度実績に対し原単位で96%であり、結果は以下のとおりである。

環境目標 (H19年度実績を ベースとして削減する)	単位	平成19 年度実績	平成21年度		増 減	達成 状況
			目標	実績		
1 二酸化炭素排出量 の削減	kg・CO2/ 総用水供給量・百万トン	23,542	22,600	21,053	89%	○
2 廃棄物排出量 の削減	トン/ 総用水供給量・百万トン	0.0475	0.0456	0.0279	59%	○
3 総排水量の削減 (水使用量)	トン/ 総用水供給量・百万トン	52.1	50.0	52.9	101%	×
4 水源地・流域、及び周辺との コミュニケーションの推進		<ul style="list-style-type: none"> ・牛頸浄水場 植樹祭、桜花見会実施 ・コスモス見学会、施設説明会実施 ・有明海に豊かな水を流す植樹会参加 ・筑後川、矢部川「ノーポイ」運動参加 など 				○

二酸化炭素排出量と廃棄物排出量削減は目標をクリアしたが、水使用量（総排水量）が増加した。

2.2 20年度以降の目標

環境目標 (H19年度実績をベースとして 削減する)	単位	平成19年度 実績	平成20年度 (h20, 4~ h21, 3)	平成21年度 (h21, 4~ h22, 3)	平成22年度 (h22, 4~ h23, 3)
1 二酸化炭素排出量の削減	kg・CO2/ 総用水供給量・百万トン	23,542 (100%)	23,071 (98%)	22,600 (96%)	22,129 (94%)
2 廃棄物排出量の削減	トン/ 総用水供給量・百万トン	0.0475 (100%)	0.0466 (98%)	0.0456 (96%)	0.0447 (94%)
3 総排水量の削減 (水使用量)	m ³ / 総用水供給量・百万トン	52.1 (100%)	51.0 (98%)	50.0 (96%)	49.0 (94%)
4 水源地・流域、及び周辺との コミュニケーションの推進		水源地流域の清掃活動等参加、 地域住民への施設の開放と見学会。			

3 . 主要な環境活動計画の内容

3 . 1 二酸化炭素排出量削減のための取り組み目標と取り組み方法

(19 年度基準とし目標 4 % 削減)

(1) 電気使用量の削減

施設毎の電力検針の実施。

(管理本館・水質センター・薬品棟・沈でん物処理棟の検針)

不要電力消費 (室内、外灯、エレベーター) を抑制する。

照明器具の効率化 (器具に反射板の取り付け)



赤テープ ; 不在時消灯
白テープ ; 常時点灯
緑テープ ; 土、日 夜間消灯

(節電目的)

(2) ガソリン使用量の削減

アイドリングストップに努める。

本庁事務連絡等、輸送方法の合理化。

車の整備 (適正空気圧にする等) 省エネ車への買い替え。

(3) A 重油使用量の削減 (冷暖房ボイラー用重油)

エアコン設定温度を決め (夏 28 , 冬 19) 実行する。

クール・ウォームビズに努める。

室内機フィルター清掃

3 . 2 廃棄物排出量の削減のための取り組み (19 年度基準とし目標 4 % 削減)

(1) ごみ発生量の削減

不必要な包装等を持ち込まない。

リターナブル用品等、グリーン購入に努める。

備品の修理を行い、長期間の使用に努める。

(2) 紙発生量の削減

会議資料のペーパーレス化に努める。

コピー等の裏面使用・封筒の再利用の推進に努める。



(コピー用紙のリサイクルと廃棄物削減目的)

3.3 総排水量の削減 (19 年度基準とし目標 4 % 削減)

- (1) 節水活動の推進に努める。
- (2) 施設毎検針の実施。(管理本館・水質センター)
- (3) 雨水の有効利用

3.4 水源地・流域、及び周辺とのコミュニケーションの推進

牛頸浄水場は、「筑後川」から日量最大 178,800m³ を取水しています。筑後川は、熊本・大分・佐賀・福岡の 4 県にまたがる九州最大の 1 級河川であり、安全で良質な水を安定的に供給するためには、豊かな森を育てることや河川流域の環境を健全に保つことが大切なことです。

当浄水場及び水質センターでは、地域の方々と連携・協力して植樹や下草刈りなどによる水源林の保全や、河川清掃による環境保全など積極的に参加活動しています。

- (1) 地域住民への施設の開放と見学会 (交流事業)
- (2) 水源流域の清掃活動等参加 (森林・環境保全)

3.5 節電・節水に対する取組 (平成 20 年度 ~)

- ・ 電力使用量について従来は受電電力量のみを毎月検針していたが、新たに各施設 (管理本館・水質センター・薬品棟・沈でん物処理棟) ごとの使用量監視に変更した。
- ・ 総排水量について従来は施設全体の水使用量を 2 ヶ月ごとに検針していたが、管理本館と水質センター棟で毎月検針を実施することに変更した。

これは建物毎に細かい監視をすることでそれぞれの使用量が明確になり、節水意識の向上につながると考えた。

4. 環境活動計画の取組結果の評価

平成21年度の目標に対する各項目の実績(原単位)は次のとおりであった。

環境目標 (H19年度実績をベースとして削減する)	単位	平成19 年度実績	平成21年度		増 減	達成 状況
			目標	実績		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg・CO ₂ / 総用水供給量・百万トン	23,542	22,600	21,053	89%	
(電気使用量の2%削減)	kwh/ 総用水供給量・百万トン	56,614	54,349	51,270	91%	
(ガソリン使用量の2%削減)	L/ 総用水供給量・百万トン	74	71	50	67%	
(A重油使用量の2%削減)	L/ 総用水供給量・百万トン	705	677	556	79%	
(液化石油ガス(LPG)の2%削減)	kg/ 総用水供給量・百万トン	20	19	17	85%	
2 廃棄物排出量の削減	トン/ 総用水供給量・百万トン	0.0475	0.0456	0.0279	59%	
(廃棄物等総排出量)	トン/ 総用水供給量・百万トン	0.0377	0.0361	0.0195	52%	
(廃棄物最終処分量)	トン/ 総用水供給量・百万トン	0.0098	0.0094	0.0084	86%	
3 総排水量の削減 (水使用量)	トン/ 総用水供給量・百万トン	52.1	50.0	52.9	101.5%	×
4 水源地・流域, 及び周辺とのコミュニケーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・牛頸浄水場 植樹祭、桜花見会実施 ・コスモス見学会、施設説明会実施 ・有明海に豊かな水を流す植樹会参加 ・筑後川、矢部川「ノーポイ」運動参加 など 					

4.1 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量の削減は、平成 19 年度実績に対し原単位で 89%（目標 96%）・実績比 93.6%であった。

イ、電気使用量について（下記表参照）

電気使用量の使用実績は、平成 19 年度実績に対し原単位で 91%・実績比 93.8%であった。電気使用量については、受電電力量のみについてデータ管理を行っていたが、平成 20 年度より施設毎のデータ管理を新たに実施し、細部の分析をすることにより節電を向上させた。

具体的には、室内照明など不要消費電力の抑制徹底や照明器具の効率化による効果と考えている。

ロ、ガソリン使用量について（下記表参照）

ガソリンの使用実績は、平成 19 年度実績に対し原単位で 67%・実績比 69.3%となった。職員の本庁への車の相乗りによる効率的運行の徹底、省エネ車への買い替えにより削減できたと考えている。

ハ、A重油使用量について（下記表参照）

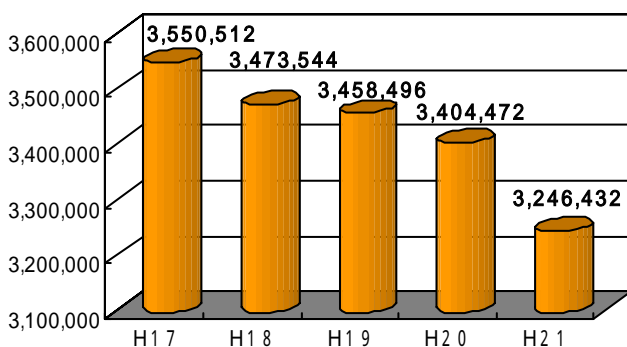
A重油の使用実績は、平成 19 年度実績に対し原単位で 79%・実績比 81.7%となった。冷暖房設定温度の遵守徹底により、削減できたと考えている。

ニ、LPG使用量について（下記表参照）

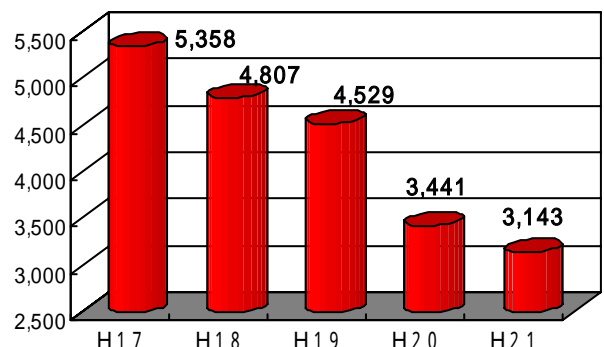
LPGの使用実績は、平成 19 年度実績に対し原単位で 85%・実績比 87.5%となった。水質試験器具洗浄用湯沸かし器の温度管理やまとめ洗い等による削減と考えている。

過去 5 年間の取組（削減）状況

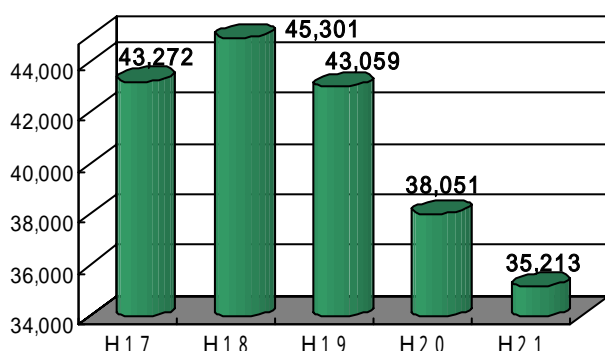
電力使用量比較（単位 kwh）



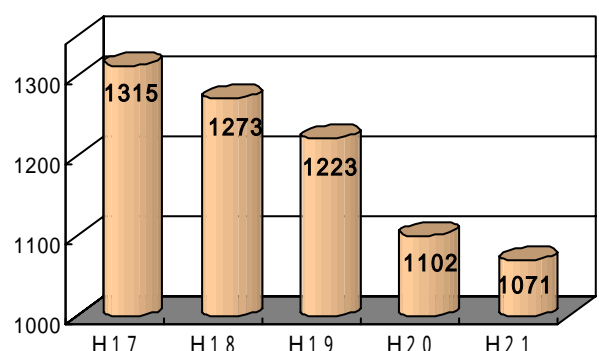
ガソリン使用量比較（単位 L）



冷暖房用 A重油使用量比較（単位 L）



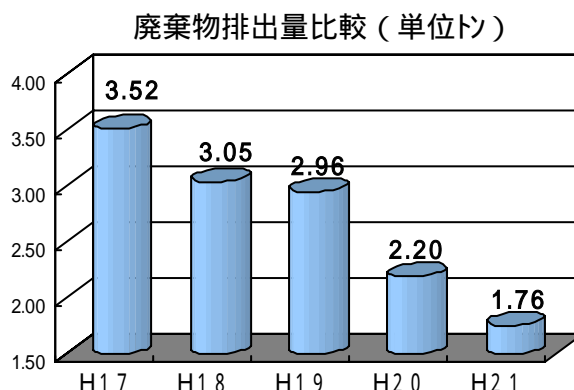
LPG使用量比較（単位 kg）



4.2 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、平成19年度実績に対し原単位で59%（目標96%）・実績比59.4%であった。（右記表より）

工事業者へのゴミ処理の指導、企業団環境保全活動で各課部屋のゴミ箱を1個にするなどしたことにより削減できたと考えている。

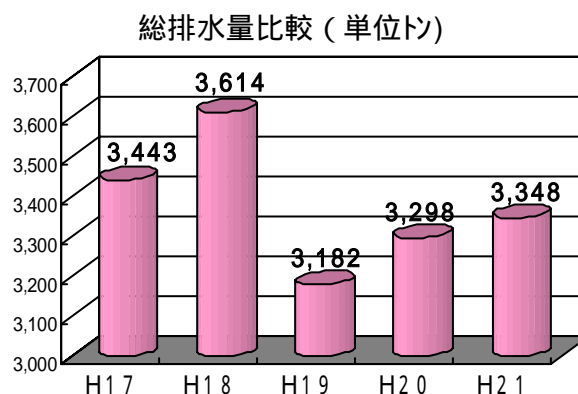


4.3 総排水量の削減

総排水量は、平成19年度実績に対し原単位で101%（目標96%）・実績比105.2%であった。（右記表より）

増加原因は、工事等による入場者の人員増加に伴い上下水の使用が増加したと考えている。

浄水場入場者数 10,235 名
 (19年度 4,255 名、240%増)



各項目の使用実績による比較

	電力量(kwh)	ガソリン(L)	A重油(L)	LPG(Kg)	廃棄物(ト)	総排水量(ト)
19年度	3,458,496	4,529	43,059	1,223	2.96	3,182
21年度	3,246,432	3,143	35,213	1,071	1.76	3,348
実績比	93.8%	69.3%	81.7%	87.5%	59.4%	105.2%
増減	-6.2	-30.7%	-18.3%	-12.5%	-40.6%	+5.2%

4.4 その他

- ・ エコアクション21の更新審査（書類審査・現地審査）を、平成22年3月21日に受審し終了しています。
- ・ 平成21年度に当施設で消費したエネルギー（重油・ガス・電気）を原油換算した結果、約852kLとなります。（二酸化炭素排出量；約1,333t-CO₂）

4.5 水源地・流域、及び周辺とのコミュニケーションの推進

(交流事業)

「福岡地区水道企業団環境方針」の基本理念及び基本方針を基に、環境に調和した緑豊かな施設を目指すことを目的に、下記の環境活動に取り組みました。

(1) 地域住民への施設の開放と見学会



牛頸浄水場植樹祭

(平成 21 年 4 月 3 日)



桜花見会



コスモス見学会

(平成 21 年 10 月 27 日)



住民の方への施設説明会

最近の見学者・入場者数

年度	18	19	20	21
見学者数	2,133	2,654	2,285	2,378
入場者数	5,499	4,255	8,701	10,235

見学者数 ; 小学生及び地元住民外施設見学者数

入場者数 ; 工事・委託点検業者等

(20年度以降の著しい増加は、大掛かりな耐震補強工事等によるもの)

(森林・環境保全)

「福岡地区水道企業団環境方針」の基本理念及び基本方針を基に、水源地域及び流域の環境保全のため、清掃活動や下草刈りなど下記の環境保護活動に取り組みました。

(2) 水源地域及び流域の清掃活動等参加



ラブアース・クリーンアップ 2009(海の中道)作業参加

主な参加行事

- ・ 蜂の巣湖桜まつり(松原ダム)
- ・ 筑後川、矢部川ノボイ運動(久留米市)
- ・ ラブアース・クリーンアップ 2009(海の中道)
- ・ 江川ダム水源祭(朝倉市)
- ・ 有明海クリーンアップ作戦(柳川市)
- ・ 200海里の森づくり下草刈り(日田中津江)
- ・ 大山ひと山まるごとガーデニング
- ・ 「甘木緑の応援団」水源林保全活動

5 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

5 . 1

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、過去3年間違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。